

1 協議事項

(1) 二次評価及び選定フローの見直し（案）について

① 評価の変更点

二次評価の地元代表説明を総合評価時に変更する（選定フロー参照）

※二次評価：一次選定候補地 7 か所を 3 か所程度に絞り込み

② 変更理由

地元代表説明の趣旨

①候補地選定に地元の意見・要望を反映させる

②早い段階での情報の提供により、選定の客観性・透明性を図る。

↓

二次評価での地元代表への説明は、下記の懸念がある。

ア 二次評価では、候補地の現地踏査及び地元代表の意見・要望を評価に反映させる予定であったが、地元代表だけの意見・要望を地元全体の意向として反映させられるのかという懸念がある。

イ 二次評価時に、候補地の現地踏査の情報がない状況で、地元代表に説明することは、かえって地元の不安をあおり、混乱を招く恐れがある。

↓

候補地の地元への説明は、総合評価に集約させ、地元（代表、住民等）と行政が情報を共有しながら説明・協議を重ねることで、地元の意向をよりの確に総合評価に反映することができる。

③ 二次評価及び選定フローの見直し（※下線部分が変更点となります）

	変更案	現行	
二次評価	1 現地踏査による評価 (同右)	1 現地踏査による評価 ①自然災害等への影響 ②自然環境保全への影響 ③生活環境への影響 ④水源への影響 ⑤建設運営コストへの配慮	} 専門家会議委員の評価を点数化
	<u>2 現地踏査(地区カルテ^{※1})の所見</u>	<u>2 地元代表説明会の結果</u> ・ <u>地元代表説明</u>	
	◎3か所程度選定 (現地踏査による評点+所見により、「A：立地可能と考えられる候補地、B：立地可能には詳細な検討を要する候補地」の2つに評価し、Aを選択した委員が多い候補地を選定)		
総合評価	地元説明会（ <u>地元代表</u> 、地元）	地元説明会（地元）	
	1 現地踏査による評価 (同右)	1 現地踏査による評価 ①自然災害、自然環境、生活環境、水源 ②建設運営コスト	
	2 現地調査による評価 (同右)	2 現地調査による評価 ボーリング調査等（地権者の了解）	
	<u>3 地元説明会の結果</u> ・ <u>地元代表説明</u> ・ <u>地元説明</u>	<u>3 地元説明会の結果</u> ・ <u>地元説明</u>	
	◎1か所選定（現地踏査+現地調査+地元説明の結果を総合評価し、順位付け）		

※1 地区カルテ：地区の詳細情報を集約した調査表